年度 2007　学期 前期	曜日･校時　月 2	必修選択　必修	単位数　1
授業科目/(英語名)	総合英語 III Comprehensive English III		
対象年次　2 年次	講義形態　演習	教室	
対象学生(クラス等)　2Tg		科目分類　外国語科目 (英語)	

担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー
担当教員: 小笠原真司/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp/研究室:教育学部 6 階 618
/オフィスアワー: 水4 金3

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標

授業のねらい:このクラスは、英語の文法の復習を行い基本構文の修得をしてもらい、簡単な科学論文や科学記事であれば、辞書なしでなんとか大意がとれるようにします。また、ﾘｽﾆﾝｸﾞや音読の訓練も行い、英語の音に対して、自信が持てるようにします。

授業方法:演習形式で行います。指定されたテキスト①は、決められた範囲を予習してくることが必要です。テキスト②の英文は、授業中にその場で読んでもらい、大意や必要な情報をつかむ練習をするとともに、家庭でさらに精読してきてもらいます。

授業到達目標: 英語の重要な文法の復習を行い、英語の基本構文を修得し、簡単な科学論文をなんとか読めるレベルまで指導します。具体的な目標は、語彙レベルでは、2000 語から 3000 語レベルの修得を目指し、TOEIC において最低 400 点はクリアーできるようにします。余裕のある学生は、500 や 600 点の突破を目指します。また CD を用いて、基本的なﾘｽﾆﾝｸﾞストラテジーを身に付けるようにします。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容 (概要)

毎回、授業の最初には、テキスト②を用いた音読やﾘｽﾆﾝｸﾞ活動から行います。これは、テキストから音読やﾘｽﾆﾝｸﾞの範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら練習し、この活動に参加してください。成績の 20%は、この活動にて評価します。次に、テキスト①を用いて、文法や構文の復習をしながら、英語の基礎をかためます。学生は指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。授業の後半では、テキスト②のﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材を読んでもらいます。この教材は、毎回担当者が授業時に読むべき教材を指定し、時間を制限して読んでもらい、大意をつかんだり必要な情報を読み取る練習を行いいます。このﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材は家庭学習としてさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。同時に、音読の練習も行います。英語のﾘｽﾞﾑや音から英語を学ぶことも大切です。

2 年生の英語は、週 1 回になります。英語の力をつけて、 TOEIC において最低 400 点をクリアーするためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生いると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。

第1回　オリエンテーション、　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材1、
第2回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材1,2　テキスト①　単語･品詞
第3回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材 2,3　テキスト①　文の成分
第4回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材 3,4　テキスト①　動詞･時制
第5回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材 4,5　テキスト①　形容詞･副詞
第6回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材 5,6　テキスト①　比較
第7回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材 6,7　テキスト①　接続詞･前置詞
第8回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材 7,8　テキスト①　助動詞･疑問文
第9回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材 8,9　テキスト①　不定詞･分詞
第10回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材 9,10　テキスト①　動名詞･現在完了
第11回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材10,11　テキスト①　受動態
第12回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材11,12　テキスト①　関係代名詞･関係副詞
第13回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材12,13　テキスト①　話法･構文
第14回　テキスト②ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ教材13　英語実力テスト
第15回　定期試験

キーワード	
教科書･教材･参考書	教科書 (テキスト) :テキスト①Fundamental Grammar and Vocabulary (Seibido) 1,900 円 テキスト②A Basic Training for Phrase Reading and Repeating (Kinseido) 1,850 円 (第 1 回目の授業時に教室にて販売します)
成績評価の方法･基準等	○定期考査70%、毎回の音読、ﾘｽﾆﾝｸﾞテスト 30%で行います。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ/学習･教育目標	
備考(準備学習等)	